

ディボーション質問表



今週の箇所は、「エレミヤの後半生の事件」(26～45章)の中の、「エホヤキム、ゼデキヤ時代の出来事」(34：1～39：18)の部分です。

31日(月) エレミヤ書 37：1～21 捕らえられたエレミヤ

1. 37章の内容は、34章の出来事の続きになっています。1～10節と17～21節からゼデキヤ王についてどのような事が分かるでしょうか？彼のしている事をどう思いますか？そんな彼に対して主はどのような事を語られているでしょう。
2. 11～16節でエレミヤは捕らえられます。彼らは何故そのような事をしたのでしょうか？カルデヤ人とはバビロン軍の事です。

1日(火) エレミヤ書 38：1～13 水ために投げ込まれる

エレミヤの預言者としての活動は、南ユダ王国がバビロンに捕囚されるのは神様の導きであり、神様が必ず守り導き再びイスラエルを建てなおされることを伝えることでした。

1. エレミヤがここで語っている事はどのような内容でしょうか？彼のこのような姿勢をどう思いますか？そんな彼に対して首長たちは何を語り、どう行動していますか(4節)？
2. 宦官エベデ・メレク(7節)はこの箇所を何を語り、どのような行動をしているのでしょうか？彼のそのような行動をどのように思いますか？

2日(水) エレミヤ書 38：14～28 ゼデキヤ王との最後の会見

1. ゼデキヤ王と首長たちの力関係はどのようでしょうか(5節)？またゼデキヤ王の主に対する姿勢はどのようですか(14～16節)？彼はエレミヤを心底信じていませんし、神様も恐れてはいませんでした(37章)。
2. 主の言葉に聞き従うつもりがないのに、エレミヤを招くゼデキヤ王に対してエレミヤは何を語り、どのように接していますか？エレミヤのそのような行動をどう思いますか？

3日(木) エレミヤ書 39：1～18 エルサレム陥落

1. 人の顔を怖がったり、先行きがわからないので神様に頼ったりしていたゼデキヤや神様を恐れず自分たちの思い通りに生きようとした首長たちはどうなりましたか(1～10節)？
2. エルサレム陥落(BC586年)の時、エレミヤはどこにいましたか？このような状況の中で彼はどうなりましたか？何故彼は助かったのでしょうか(11～18節)。

4日(金) エレミヤ書 40：1～6 エレミヤの釈放

1. 40～44章まではエレミヤの晩年の歩みを記しています。40：1～6節は39：11～14節に続く内容です。40：7～43：7節では、エルサレム陥落後のユダの状況に焦点が当てられています。
2. バビロンの侍従長(1節)は、エレミヤに何を語っていますか？それに対してエレミヤはどのような反応をしていますか？

5日(土) エレミヤ書 40：7～16 ゲダルヤの働き

1. バビロンの王は、南ユダの総督にゲダルヤを立てます。この箇所で彼についてどのような事が分かりますか？彼は、41：2節でイシュマエルらによって殺害されてしまいます。
2. バビロンに滅ぼされたことも、その後のゲダルヤのやり方にも納得しない人々(14節)がいました。そんな彼らをバビロンに齒向かおうと考えていた国(アモン人)がサポートしました。彼らは何をしようとしていましたか？

*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。